

室蘭地区の発展を願って！ Report

U-15 北海道ブロックエンデバ - を終えて

室蘭市立桜蘭中学校

年中野純那

私は、月 19日、20日に開催されたU-15北海道ブロックエンデバーに、室蘭代表として参加させていただきました。

室蘭からは私だけではなく、星蘭中の今野さんも一緒だったので、不安はあまりありませんでしたが、とても緊張しました。

体育館に入って、まず 番に驚いたことは、回りの人の背の高さです。地区では背が高い方の私も小さく見え、長身の選手ばかりでした。

練習内容は、ハンドリング、ドリブル練習、シュート練習、シェーピング、3対3、ディフェンス練習などです。

強く印象に残った事は、選手一人一人が得意とするプレーを持ち、十分に発揮していた事です。素早いドリブルをする選手、粘りのあるディフェンスをする選手、シュートにつながるナイスパスをする選手など、プレーの幅も広く、圧倒させられるばかりでした。私はと言うと、これといった得意プレーもなく、ゴール下でもいつもワンパターンです。これでは、全道ではもちろん、どのような相手にも通用しないと感じました。ディフェンスも、すぐに抜かれてしまうので、これからの課題として、プレーの幅を広げることと、相手のプレーを止めるようなディフェンスをすることだと思いました。

印象に残ったのは、プレーに関することだ

けではなく、行動面でもです。とにかく、練習と練習の間の切り換えが早かったです。それに、みんな積極的で発言するときも勢いよく手を挙げ、堂々と発言していました。私は消極的で、それがプレーにも出てしまっているので、そういう部分でも周りの選手との差を感じました。返事の声もとても大きいし、行動も早く、話もきちんと先生の目を見て聞く、など当たり前の事だけれども、チームの雰囲気を作るためにも、チームが強くなるためにも、大切なことなのだと思います。なので、普段から素早い行動を心掛けます。

この2日間を通してたくさんの事を学び、得る事ができました。今の自分の未熟さも改めてわかり、周りの選手の良いプレーを吸収できた、良い機会となりました。この機会をいただけた事に感謝しています。これを決して無駄にはせず、自分自身に活かして、もっともっと上を目指して頑張ります。

今回協力して下さった室蘭地区の先生方、エンデバースタッフの皆さん、引率して下さった先生、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。